

丘のみちしるべ改訂される

～竜丘を知るみちしるべ～



発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,934人
男子	3,368人
女子	3,566人
世帯数	2,503戸
(27年4月末現在)	

竜丘を学ぶふるさと教材「丘のみちしるべ」が、十四年ぶりに改訂されました。現況調査から執筆までの経緯や、今後の活用への期待について、編集委員のみなさんに語っていただきました。

新・丘のみちしるべ編集委員会

委員長 岡村 巧

平成十三年に発行された竜丘ふるさと教材「丘のみちしるべ」ですが、十数年経過する中で、現在の地域の姿や時代の変化を反映した教材にしようと、一昨年から準備を進めてきました。前回の発行に携わった方々をアドバイザーに、有識者ではなく一般住民を中心に小中学校の先生を含め、二十名の編集委員が三部会に分かれ、それぞれに資料の検討や現地調査、写真撮影、執筆等に取り組まれました。

二十六年度長野県地域発元気づくり支援金を受け、この度改訂版として竜丘ふるさと教材二〇一五「丘のみちしるべ」が出来上がりました。この作業を通して委員一人ひとりも一度地域を学ぶ機会となり、自分のふるさと「竜丘」の歴史・環境のすばらしさに気づくことが出来ました。また、地域に対する意識も高まり、次回の改訂時に役立つと思われるものと思います。改訂版は出来ましたが、

新しい丘のみちしるべ



これからどのように活用していくかが課題です。これまでも「丘のみちしるべ」を使った小学校の遠足や授業、公民館活動で活用されて来ました。これからも今まで以上に家庭や地域、学校等で活用されるよう考えていかなければなりません。

今回の発行部数は今後十年間の小学校全児童分、中学校一学年分、地区内全戸配布分、販売用を含め三五四〇冊です。家族や友達同士で地域を知り学ぶ機会にしたいだければ幸いです。

竜丘ふるさと教材二〇一五「丘のみちしるべ」を片手に、ふるさと竜丘の新しい魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

第一部会

島岡 伸一

私たち第一部会では「第一章・古くから受け継いできた宝」について、六人のメンバーで編集作業を担当しました。第一回目の部会では、全体の構成について

第二部会

高橋 伸幸

二〇一五年の丘のみちしるべでは第二章を担当させていただきました。竜丘の教育と文化の歴史を紹介する第二章は「進取の気風」に富む竜丘の原点です。江戸時代の寺子屋教育から明治大正期の自由教育、戦後の公民館活動までの内容は地域の諸先輩方がその調査に取り組まれてきたところなので、特に教育と文化に造詣の深い田添様、竹村様、宮嶋様をはじめ、アドバイ

方向付けをした上で、項目ごとの担当者を決めました。その後は、個々に調査した資料を持ち寄り、発表するスタイルで一年余にわたる編集作業を進めて参りましたが、振り返ってみると編集作業というよりも学習会を重ねてきたという印象が残っています。

取材等を通じて多くの方と知り合えたこと及び竜丘の歴史や文化について幅広く学習できたことこそが、竜丘公民館のスローガンである「知り合って 触れ合っ て 学びあう」事であると実感しました。編集作業が終わりホッとしています。今後はどのように活用していくべきか検討していきたいと思えます。最後になりますが、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

第三部会

林 健吾

第三部会では、竜丘の地形や地質、動植物の生態、人と自然の関わりなどの分野を執筆しました。

前回の発行から年数が経っており、動植物の生息状況に変化があるため、部会では、まず竜丘の現状を調査することから始めました。季節に合わせた動植物や河川などの写真撮りや銘木めぐり、断層の地質調査、船からの天竜川の生態調査等々、地区内を何回も巡りました。毎回、新たな発見があり、とても楽しく取り組むことができました。

これ以外に、各委員は担当する分野について、独自に現地調査や専門家への聞き取り、文献調査をしました。新しい事も盛り込みながら、新



親子ふれあいハイキングが、五月十日に竜丘財産区白井林のイベント広場で開催され、汗ばむほどの天気の中、約七十人の親子連れが参加しました。

開会式の後、三班に分かれ三つの体験をしました。タケノコ掘りは、広場から下った竹林で行ない、参加者は根本から掘ろうと苦労していました。椎茸のコマ打ち体験では、電気ドリルを使って原木に穴を空けコマを打ち込みました。椎茸が育つのが楽しみでした。太い竹をノコギリで切りお椀を作りました。お椀には、そのお椀でタケノコの豚汁を頂きました。おかわりする人がたくさんいて、大鍋一杯の豚汁が、あつというまに無くなってしまうました。

自然体験山盛り

親子ふれあいハイキング

棒パンづくりでは、長い竹竿の先にパン生地を長く伸ばして巻き付け、炭火で焼きます。汗をかきながら、こんがり焼いたパンの味は格別だったようです。

お昼の後には親子で植樹をしました。ヤマザクラやナナカマド、ミツバツツジなどの苗木を植え水をあげました。自分の名札を付ける子どももいて、大きく育つのを楽しみました。

親子で楽しむハイキング

家族で貴重な体験をし、豊かな里山の自然を満喫することができました。公民館や財産区、里山愛護会の方の熱意を感じたハイキングとなりました。



楽しかった丘のみちしるべ探索

五年生 吉川 准矢

丘のみちしるべ探索に行きました。最初に、鷺流峡で林先生のお話を聞いてから、つりざおを見せてもらいました。十メートルあるつりざおでアユをつるので、すごいと思います。お話が終わったから、石投げをして遊び、楽しかったです。次に、金山神社に行きました。神社はぼくの家のとなりにあるけれど、神社のことは全然知らなかったのです。いろいろなことが分かってよかったです。

丘のみちしるべ探索で、いろいろなか



若葉が眩しい季節となりました。大型連休も終わり、初夏を思わせる天候で季節の変化の早さを改めて感じます。

大型連休の過ごし方は世代によって個々違うと思いますが、子供がいる世帯では連休中どこかに連れていかなければ納得しない子供も多いと思います。

若者たちはこの休みを利用して都会へ遊びに行き、また、普段会えない親戚が集まり楽しいひと時を過ごしたご家庭も多いかもしれません。

今回の大型連休の新聞記事を見ると北陸新幹線の全線開通、善光寺の御開帳等観光地は賑わっていたようです。一方で財布のひもは固いとの声も聞かれたようです。

私自身も昨年までは大型連休はどこかに行っていました。今年から状況は変わりました。五連休中四日間は子供の野球に付き合いました。子供も本気で取り組みますが、親自身もこれだけ時間を使うとなると本気モードになります。子供の成長に応じて親の行動も大きく変わります。それでも連休最終日は平谷村のひまわりの湯に行つて来ました。天気も良く県外ナンバーの車で駐車場一杯でした。標高が高く、初夏の北海道を思わせる気持ちよい空気で、それだけでも心身ともにリフレッシュさせられました。売店では旬の山菜が販売され賑わっていました。近頃の観光客が多いと思いますが「安・近・短」という意味で魅力ある観光スポットです。

連休が終われば季節は春から夏へと変わります。農作業も忙しくなる頃、体調管理には十分注意しましょう。

基本構想二年目

実りある取り組みに向けて新体制始動

竜丘らしい地域に向かつて
竜丘らしい原風景の維持、地域資源の保全・活用、地域内産業の連携促進、道路問題等を中心として全体で取り組む事業とプロジェクトで取り組む事業に分けて進めて参りたいと思います。



各委員長より

今年、役員全員が交代し、もたつきながら竜丘地域自治会がスタートしました。平成二十五年度末多くの方々のご尽力により、立派な将来に向かっての竜丘地区基本構想が出来上がり、平成二十六年より、いくつか実行し始められました。まだまだ取り組みがいつ

地域振興委員会 委員長 前澤正信



少しでも住み良い、安全で明るく健康なアイデアあふれる竜丘地区をめざして努力したいと思っております。

身の丈にあった文化を次世代に 公民館長 下平勝熙



能力を試される二期目の任命をされ三年目の挑戦が始まった。竜丘はプロの文

豊かさは時間をかけて育ち、知り学ぶことが第一歩。公民館の合言葉「知りあつてふれあつて学びあ

ばいありますが、これに向かつて行くことが、新役員の抱負になるのかなと思います。

竜丘らしい原風景の維持、地域資源の保全・活用、地域内産業の連携促進、道路問題等を中心として全体で取り組む事業とプロジェクトで取り組む事業に分けて進めて参りたいと思います。

リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の全線開通も現実のものとなってきまして、それを見据え今から取り組んで行かなければなりません。

目の前の課題の解決に向け、少しでも前へ進めていきたいと思っておりますので、地区民の皆様のご協力をお願いします。

たなあと云つてもらえる地域にしていきたいと思つています。お互いに声をかけ合い明るいあいさつ、譲り合いの精神を育てましょう。

安全委員会 委員長 小池敬一



交通安全、生活安全のどちらも身近な取り組みが多

うに全てが凝縮されている。前任期中に「丘のみちしるべ」改訂に一年半かけて取り組んだ。幅広い層の委員が自力で調査し知識を得、リアルな体験をもとに思考を組み立て編集にあたり、竜丘をさらに知り深めてもらうことで、人づくりにつながることを目指す。

「丘のみちしるべ」を片手に魅力を再発見、身の丈にあった文化を次の世代へと残すことが出来ればと思つ

く、各委員の皆様のご協力をいただいたり、事業計画を遂行して行きたいと思つています。特に交通安全運動は年四回実施され、日頃の慣れた運転に今一度意識を持っていただく良い機会になればと考えています。

地域安全運動も年四回実施され地域の皆様へ犯罪防止を呼びかけて行きます。

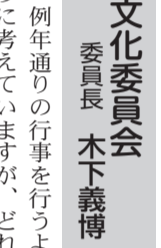


環境委員会 委員長 酒井 公

地区基本構想を策定する際に実施した住民や子供に対するアンケート結果によると、ごみの不法投棄やポイ捨てのないまちを望む声が多く、地区住民の環境美化に関する関心は高いようです。総会で承認された事業を確実に実施し、美化活動を進め、生活環境を地域ぐるみで少しでも改善したいと思つています。私をは

山あると聞いてはいましたが、まさか竜丘自治会での長となり、仕事の多さに驚いています。取り組みとして主に、住み慣れた環境で長く健康に暮らすための地域づくりを目指し活動を進めていきます。まだ始まったばかりでとまどう事ばかりですが、委員の皆様のご協力を頂き一つ一つ計画を実行に移し、職務を全うしていきたいと思つています。

文化委員会 委員長 木下義博



例年通りの行事を行うように考えていますが、どれも竜丘には大切な事業ばかりです。皆さんの中には、毎年の事業で「またか」とお考えの方もいるかもしれませんが、地域の方々が大なり小なり協力し合つて、地域を作っていく。文化祭を例にとつても、竜丘の人より地域外からの評価が高いのは、自慢が出来る事ではないでしょうか。皆様がこの竜丘で生きた証になる様に文化事業を継続していきたいと思つています。

今年度も夏季スポーツ大会、竜丘市民運動会、冬季スポーツフェスティバルを柱としてスポーツを通じて地域住民の親睦、世代間の交流が図れるよう企画、運営をして参ります。地域の皆さんが集まりやすく気軽に楽しみな競い合える場を目指し、分館の皆さんと連携しながら、より良い体育事業を作つて行きたいと思つています。

じめ各地区の環境委員代表者も初めての経験ですが、スローガン『みんなできくきれいな竜丘、できることから始めよう』を忘れずに頑張りますので、地区住民の方々の御協力をお願いします。

福社健康委員会
委員長 宮澤 聖



この四月から、竜丘地区の担当となりました保健師の小椋直美です。短い期間ではありますが大変お世話になりました。短い期間ではありますが大変お世話になりました。短い期間ではありますが大変お世話になりました。

先輩諸氏の熱い思いで発した、飯田市に唯一、存在する委員会です。地域の貴重な史料の保存や後世に伝えていくために、地道にコツコツ活動をしていくことが大切となります。課題は無限にあります。委員の皆様のお力に支えられ、また、地域の皆様のご理解をいただくと、竜丘の地に流れている文化的土壌を伝えて

体育委員会 委員長 久保田昭仁

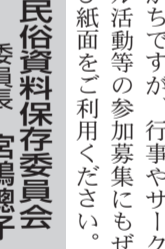


今年度も夏季スポーツ大会、竜丘市民運動会、冬季スポーツフェスティバルを柱としてスポーツを通じて地域住民の親睦、世代間の交流が図れるよう企画、運営をして参ります。地域の皆さんが集まりやすく気軽に楽しみな競い合える場を目指し、分館の皆さんと連携しながら、より良い体育事業を作つて行きたいと思つています。

今年度も夏季スポーツ大会、竜丘市民運動会、冬季スポーツフェスティバルを柱としてスポーツを通じて地域住民の親睦、世代間の交流が図れるよう企画、運営をして参ります。地域の皆さんが集まりやすく気軽に楽しみな競い合える場を目指し、分館の皆さんと連携しながら、より良い体育事業を作つて行きたいと思つています。

地域の行事や情報をお届けしながら、みなさんの目に留まる公民館づくりを進めていきます。また、できるだけの地域の課題・生活課題を取り上げ、みなさんが自分の住む竜丘のことを少しずつでも考えていただくきっかけを提供できればと思つています。

報告的な記事が多くなりがちですが、行事やサークル活動等の参加募集にもぜひ紙面をご利用ください。



民俗資料保存委員会 委員長 宮嶋聡子

先輩諸氏の熱い思いで発した、飯田市に唯一、存在する委員会です。地域の貴重な史料の保存や後世に伝えていくために、地道にコツコツ活動をしていくことが大切となります。課題は無限にあります。委員の皆様のお力に支えられ、また、地域の皆様のご理解をいただくと、竜丘の地に流れている文化的土壌を伝えて

飯田市には「地育力」という言葉があります。竜丘公民館の基本方針の一つ「子どもは地域で育てる」を理念に基づき、地域と子供が共に育つていくことが理想的であります。

広報委員会 委員長 宮島 剛

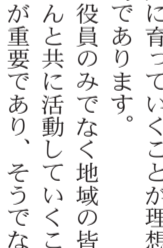


この四月から、竜丘地区の担当となりました保健師の小椋直美です。短い期間ではありますが大変お世話になりました。短い期間ではありますが大変お世話になりました。

この四月から、竜丘地区の担当となりました保健師の小椋直美です。短い期間ではありますが大変お世話になりました。短い期間ではありますが大変お世話になりました。

いくことができると思っています。よろしくお願ひいたします。

育成委員会
委員長 関島隆夫

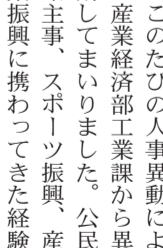


このたびの人事異動により産業経済部工業課から異動してまいりました。公民館主事、スポーツ振興、産業振興に携わってきた経験を活かして、地域の皆様とともに地域振興に全力で取り組みたいと思つています。よろしくお願ひいたします。

この四月から、竜丘地区の担当となりました保健師の小椋直美です。短い期間ではありますが大変お世話になりました。短い期間ではありますが大変お世話になりました。

健康づくりの基本「知る」「実践する」「仲間と一緒に継続する」に取り組みたいと思つています。どうぞよろしくお願ひいたします。

林務課 和泉忠志

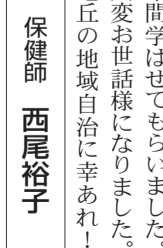


この度の異動により松尾地区を担当することになりました。竜丘担当は二年間でしたが、地域の皆さんの温かなご支援とご指導のおかげで無事勤めることができました。本当にありがとうございました。

この四月から、竜丘地区の担当となりました保健師の小椋直美です。短い期間ではありますが大変お世話になりました。短い期間ではありますが大変お世話になりました。

センター所長 市瀬智章

保健師 西尾裕子



この四月から、竜丘地区の担当となりました保健師の小椋直美です。短い期間ではありますが大変お世話になりました。短い期間ではありますが大変お世話になりました。

この四月から、竜丘地区の担当となりました保健師の小椋直美です。短い期間ではありますが大変お世話になりました。短い期間ではありますが大変お世話になりました。

厚生担当 杉山圭子

保健師 小椋直美

この四月から、竜丘地区の担当となりました保健師の小椋直美です。短い期間ではありますが大変お世話になりました。短い期間ではありますが大変お世話になりました。

この四月から、竜丘地区の担当となりました保健師の小椋直美です。短い期間ではありますが大変お世話になりました。短い期間ではありますが大変お世話になりました。

平成27年度 竜丘地域自治会会計 予算

収入合計 35,105,000
支出合計 35,105,000
差引残高 0

委員会	事業項目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	説明
1 地域自治会		35,105,000	33,699,000	1,406,000	
1	1 会費収入	15,300,000	15,300,000	0	
	2 パワーアップ交付金A	6,117,000	6,155,000	△ 38,000	飯田市からの交付金
	3 交付金B	2,899,800	2,942,000	△ 42,200	各種補助金
	4 その他 交付金及び補助金(交付金C)	1,968,842	1,298,000	670,842	自治会からの補助等
	5 太陽光発電電収入	97,000	0	97,000	
	6 使用料	200,000	0	200,000	印刷機(リソグラフ)使用料ほか
	7 繰越金	8,321,392	7,802,846	518,546	前年度繰越金
	8 繰入金	0	0	0	
	9 寄付金	0	0	0	
	10 預金利息	966	1,154	△ 188	預金利息
	11 雑収入	200,000	200,000	0	イベント謝礼ほか
	収入合計	35,105,000	33,699,000	1,406,000	

委員会	事業項目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	比較(A-B)	説明
1 区長会		11,990,000	12,178,000	△ 188,000	
	1 総務費	8,933,000	8,960,000	△ 27,000	委員報酬他
	2 事業費	3,057,000	3,218,000	△ 161,000	諸事業運営費
2 地域振興委員会		5,790,000	5,446,000	344,000	諸事業運営費
3 安全委員会		2,040,000	2,127,000	△ 87,000	諸事業運営費
4 福祉健康委員会		2,979,000	2,899,000	80,000	諸事業運営費
5 環境委員会		1,273,000	1,045,000	228,000	諸事業運営費
6 公民館		5,551,000	5,637,000	△ 86,000	
	1 文化委員会	795,000	765,000	30,000	文化祭等事業費
	2 体育委員会	679,000	660,000	19,000	運動会等事業費
	3 広報委員会	465,000	465,000	0	館報発行等事業費
	4 育成委員会	695,000	690,000	5,000	古墳まつり等事業費
	5 民俗資料保存委員会	100,000	100,000	0	民俗資料保存等事業費
	6 学級講座他	1,615,000	1,815,000	△ 200,000	分館補助等事業費
	7 公民館管理	1,202,000	1,142,000	60,000	定期清掃等管理費
7 特別委員会		710,000	510,000	200,000	
	1 竜丘古墳の会	460,000	410,000	50,000	諸事業運営費
	2 自由画保存顕彰委員会	250,000	100,000	150,000	諸事業運営費
8 予備費		4,472,000	3,557,000	915,000	
9 積立金		300,000	300,000	0	安全委員会、環境委員会
	支出合計	35,105,000	33,699,000	1,406,000	